

特集「ススメ！論文検索」

各学年で取り組んでいる「探究チャレンジⅠ・Ⅱ・Ⅲ」も、今年度になってからすでに3回以上実施されました。

3年生は本校での探究活動のまとめとして自分の将来の学び

とどのように結び付けていくのかを考える上で、

2年生は現在の自分たちの探究活動をより深化させて進めていく上で、

1年生はこれから始まる夏の探究活動のテーマを決めていく上で、

先行研究調査の重要性を身近に感じていることでしょう。そこで、今号は「論文検索」にフォーカスを当てて紹介します。

論文に触れてみよう

「論文」と聞くと、難しそう、とっつきにくそう、得体の知れないもの、そのようなイメージがあるかもしれません。しかし、インターネットが日々の生活でこんなにも身近になった今の時代、「論文を読む」ことのハードルも非常に下がりました。今号は、インターネットを活用した「論文検索」の方法について、お伝えします。ぜひ皆さんも、興味を持ったことに関して手軽に論文検索を行い、知的好奇心の赴くままに冒険してみましょう！

Google Scholar を使ってみよう

Google が提供してくれるサービスのなかには、論文検索エンジン「Google Scholar」というツールがあります。普段の Google 検索との違いは、ネット上に公開されている学術論文やその情報をまとめて表示してくれる点です。使い方は至ってシンプルで、次の3つの Step を踏めば誰でも論文検索することができます。

手順1) 「Google Scholar」と打ち込んで検索する（もしくは右上の QR コードを読み取る）。

手順2) 調べたいキーワードを入力する。

手順3) リンク先から論文にアクセスする！

以上です。ただし、論文の全文表示は有料というケース（購入が必要）があります。ただ、その場合でも、Abstract だけでしたら読めるケースもありますので、注意しながら検索してくださいね。



Google Scholar

J-Stage を使ってみよう

J-Stage という論文検索エンジンもあります。J-Stage には日本語で読める論文が多く、掲載されている記事（論文）のほとんどが「世界中の誰でも PC やスマホで」読むことができます。日本語で検索したいときには、こちらの方が便利かもしれません。参考にしてくださいね。



↑ J-Stage

他にも論文検索の方法はたくさんありますが、まずはこの2つを試してみることをお勧めします！もし何か不明な点がありましたら、数学・化学・物理・生物各準備室にいます GL 部 SSH 担当教員に質問してくださいね。